

やぶすゆう 通信

2025年 **秋** 号

県政報告シリーズ

山形県の目線

vol. **53**

政治

●山形県議会議員
矢吹 栄修 (やぶき・えいしゅう)

「地位か名誉か金か、いや大切なのは目的だ」

五代 友厚

令和7年の6月定例会にて代表質問をしました。今回のテーマは「未来に向けた投資」でした。山形県の人口が100万人を切る中、今、未来に向けて思い切った投資をするべきです。健全財政は目的ではなく、真の目的は県民の幸福であって、その

ためには債務を負うとしても投資すべき所には思い切って予算を使うべきです。引用した五代友厚の言葉の通りです。
今回は、前回書き切れなかった代表質問の内容を報告します。

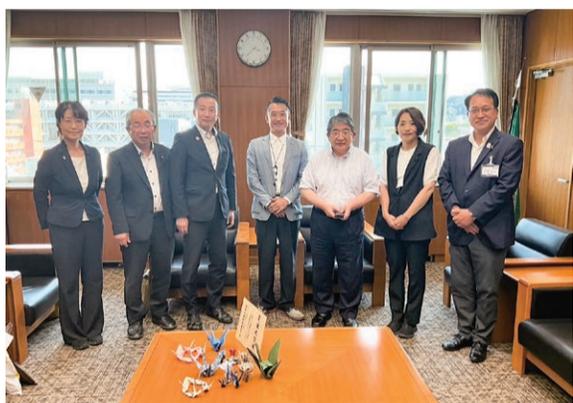


1 公立高校の老朽化対策

今年、私立高校の学費完全無償化が話題となりました。生徒と保護者には負担軽減と進路選択の幅が広がり、いいことでしょう。しかし、心配なのは公立高校が存続の危機に立たされなにかということ。私立高校は、校舎やスポーツ施設、送迎バスなどに「投資」して、生徒を集めます。しかし、公立は「学校経営」という観点があり

立の差は開けばかりになり整備交付金を要求することです。県内の公立高校の老朽化は深刻で、全てに対応するには現在の予算規模では何十年もかかってしまい、10年後に新しくなる、という高校に今の小中学生が夢を見られるでしょうか。ソフットの充実は大事ですが限界がありますし、早急に集中的に老朽化対策に動くべきです。

まずは、国に私立無償化に合わせて公立高校の施設整備交付金を要求することです。県内の公立高校の老朽化は深刻で、全てに対応するには現在の予算規模では何十年もかかってしまい、10年後に新しくなる、という高校に今の小中学生が夢を見られるでしょうか。ソフットの充実は大事ですが限界がありますし、早急に集中的に老朽化対策に動くべきです。



愛媛大学学長(中央)と文教公安常任委員会視察



2 米価の上昇と安定生産による食の安全保障

人への投資は、最大の未来への投資です。たとえ債務が増えども将来世代と負担を分かち合いながら、今

昨年からの米価の急激な上昇が世間を騒がせました。消費者にとっては大変なことではあるものの、むしろこれまでの米価が低すぎたという一面もありました。実際、米価上昇前は一膳39円で、米は菓子パンを買うより安かったのです。米価が低すぎて米農家の所得が維持できず、どんどん稲作が減っていく状況でした。米は安いのに食べない、需要がないからさらに安くなる、そして作らなくなる、という負の連鎖でした。生産者にとってはやっとな再生産可能な米価にならなければならないでしょう。都会に米を「輸出」する「米どころ山形」としては、稲作農家の視点で今後の米価の問題に臨まなくてはなりません。

3 出羽三山を軸としたインバウンドの推進

ただ、今回の米価上昇が急激すぎたために、激変緩和措置として、備蓄米の放出などによる米価抑制は仕方がなかったとは思いますが、今後は再生産可能な米価は維持しつつ、困窮世帯にお米券を配るなどして対応すべきでしょう。食糧自給率は、安全保障に直結します。ひとたび台湾有事などが起きて食料の輸入が滞れば、カロリーベイスで頼りになるのは米しかないありません。永世中立国のスイスは、有事のために国民4か月分の小麦を備蓄していますし、ヨーロッパでは、日本とは比較にならないほど農家に補助金を出して食糧自給率を維持しています。食の安全保障はそれくらい大事なことで、たまた米が安ければいいというものではありません。

4 アクセシブルツーリズムの推進

この中で、インバウンド牽引の第3の軸をつくるべきと、観光文化スポーツ部長に訴えました。

外国人観光客の伸び率において、山形県は全国トップクラスです。チャーター便が就航していても、しっかりと観光コンテンツと発信力があれば、個人客は来県してくれるということ。今山形のインバウンドを牽引している観光地は蔵王と銀山温泉ですが、どうしても冬に偏りがちです。通年でインバウンドを呼び込むために、第3の軸として注力すべきなのは出羽三山だと考えます。出羽三山は県内の中央に位置してアクセス時間が短く、山形の精神文化の象徴でもあり、観光地としても非常に優れています。

集中的に出羽三山の磨き上げと発信に「投資」するも多数あることから、透析患者などが安心して宿泊できる未来へと繋がるかもしれません。考えてみると、アクセシブルツーリズムを推進するということは、地元に住む障がい者・高齢者・外国人も住みやすいまちを志向することに他なりません。交通弱者のための2次交通の充実、外国人観光客のトラブル対応、車いすで往来できる街路づくりなど、様々な要素があり、観光客のみならず「住んでよしのまちづくり」に通じるからです。天童温泉は国土交通省の景観大賞を受賞しましたが、銀山温泉などを見ても、景観形成は100年の大計であることがわかります。一朝一夕に成るものではないかもしれませんが、10年後の未来を見据えて、アクセシブルツーリズムに投資すべきことを、観光文化スポーツ部長に訴えました。

ご意見をお寄せください。皆様の声をお届けします。

- 政治に関すること
- 日々の生活に関すること
- 山形県政・天童市政に関する疑問・質問など

ご意見はこちらまで
TEL 023(653)2496
FAX 023(653)1730
〒994-0049 山形県天童市南町2-1-29 メープル2号

矢吹えいしゅう
公式ホームページ
<https://yabusyu.jp>

